



震災復興支援
活動情報

Vol.19

サポセン かわら版

「サポセンかわら版」では、東日本大震災で被災された方のサポート、お悩みやお困りごとのご相談、心のケアなどの活動を行う市民活動団体・NPO、企業の社会貢献による支援活動などの情報をお届けします。詳細については、各団体の連絡先に直接お問合せください。

発行: 仙台市市民活動サポートセンター 電話: 022-212-3010

11月25日(金)



一般社団法人パーソナルサポートセンター

被災者の居場所・役割をつくりだし「絆」を再生

支援の輪

●現在、どのような支援活動をされているのですか。

仙台市と協働で「安心見守り協働事業」を行なっています。太白区あすと長町、宮城野区扇町一丁目公園、扇町四丁目公園のプレハブ仮設住宅と青葉区の公営住宅・社宅等の仮設住宅へ絆支援員が訪問し、安否を気遣いながら、困っていることはないかなど、お伺いしています。

●実際に訪問されて、どんな声がありますか。

市内のプレハブ仮設住宅では冬期に備え、住宅の断熱材等の補強などが行なわれています。入居して時間が経ち、仮住まいを確保でき何とか落ち着いてきた一方で、住居や経済面での先行きが見えない不安などを訴える方も多くなっています。

●今後、生きがいや仕事づくりのサポートも大切になっていますね。

そうですね。12月にあすと長町内に「コミュニティー・ワークサロン」として、誰でも来ることができ、つながることができる「居場所」を開設します。様々な講座や軽作業を通じて、人とつながりながら自分のスキルや適性を発見してもらいたいと考えています。その後は、個々の得意分野を生かした作業メニューを用意し、就労につながる支援を行なっていく予定です。

●暮らしの立て直しのためのサポートが心強いですね。

45人いる絆支援員を中心に、地域の町内会、民生委員・児童委員さんなどと連携をとりながら一人ひとりに寄り添ったサポートを心がけています。



「被災者の方々が、次の一步が踏み出せるように、一緒に悩みを分かちあいながら解決の糸口を見つけていきたいです。一人で悩まず、ぜひご相談ください。」と語る後藤まつ子事務局長

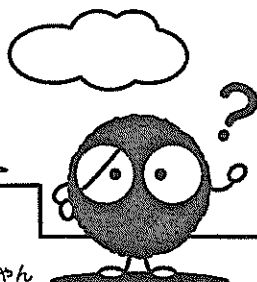
●連絡先

代表者 新里 宏二
TEL:022(399)9662 FAX:022(224)1621
連絡可能な時間帯9:00~18:00(担当:後藤)

くろサボちゃん&しろサボちゃんのつぶやき

「サポセンかわら版」って何かな？
団体からの情報がたくさん載っているけど……

くろサボちゃん



皆のお悩みやお困りごとを解決するための情報誌だよ。仙台では、たくさんの市民活動団体が活動しているんだよ。心強いね。これから、毎月1回、届くからね。

しろサボちゃん





災害子ども支援ネットワークみやぎ

多彩なメンバーで
幅広く子どもたちを支援します

●内容／宮城県内で活動する様々な子ども・子育て支援団体、精神科医、教員、助産師、栄養士らが、「被災した子どもたちのためにできることを」という目的で新たに発足しました。乳幼児用品から部活動の楽器など、子どもたちへの物資提供の継続の他、心のケア、ワークショップの開催、子どもサポーターボランティアの被災地派遣、あそび場開設、学校公演など、被災した子どものサポートを様々に行っています。

●連絡先

TEL&FAX:022(279)7239
TEL:070(5475)7819(代表世話人 小林純子)
E-mail:saigai_kodomo@yahoo.co.jp
ウェブサイト:http://saigai-kodomo.org/ http://blogs.yahoo.co.jp/saigai_kodomo



MIYAGI子どもと家庭支援プロジェクト

ひとり親家庭の自立支援
被災者向けに託児所開設

●内容／母子・父子家庭の方や、震災後職を失い求職活動中の方等の子どもを預かる「ピッコロルーム」を青葉区本町に開設。利用時間は午前8時半～午後6時半ですが、土日祝日や時間外もご相談ください。料金は1時間700円で、状況に応じて50%～全額の減免もあります。事前登録が必要ですので、お問い合わせください。ひとり親家庭支援メール配信も始めました。いろいろな情報をメールでお届けします。

●連絡先

TEL&FAX:022(279)2883
またはTEL:070(5475)7819
E-mail:kodomo_katei_sien@yahoo.co.jp



NPO法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク

子育てファミリーのための地震防災ハンドブック
～大切な人を守るために今できること～

●内容／のびすく仙台の来館者で、震災を体験した子育てママ201名のアンケート結果や座談会を受けて、乳幼児のいる家庭向けの新しいハンドブックを作成しました。「グラッ!どうする?」「家族を守るために」など実体験に基づく生活術や非常時の母乳育児のQ&A、非常時の調理ポイントなど今日から取り込めるアイデア満載。希望者に無料で配布しています。連絡先へお問合せください。

●連絡先 NPO法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク

TEL&FAX:022(714)2088 ウェブサイト:http://sefami.sakura.ne.jp/sefami/
仙台市子育てふれあいプラザ のびすく仙台
TEL:022(726)6181 FAX:022(214)5071
ウェブサイトhttp://www.nobisuku-sendai.jp/



ALL東北教育フェスタ

子どもたちに勉強を教えています

●内容／教員志望者・教員免許保持者・教育に関心のある人が、仮設住宅での子ども学習支援を行っている学生団体です。震災で以前のように勉強ができなくなった。勉強道具が無くなって勉強したくてもできない。学習塾に通えなくなった。など勉強したくてもできなくて困っている子どもたちに勉強を教えにいきます。私達が行くだけで子どもたちが喜んでくれます。それが嬉しいです。

●連絡先

代表者 本間 優子
TEL:080(5432)4551
E-mail:tohoku.e.festa@gmail.com
ウェブサイト:http://tohokuedufesta.web.fc2.com/



「三浦綾子の本を送る活動」実行委員会(三浦綾子記念文学館)

苦難と立ち向かういまこそ、
「三浦綾子の本」を読んでください!

●内容／作家三浦綾子は、13年間の過酷な闘病を乗り越え、代表作『氷点』を発表、以来「人はいかに生きるか」「苦難とどう向き合うか」をテーマに83作品を著しました。三浦綾子記念文学館ではいま、全国から三浦綾子の本の寄贈を募り、被災された皆さんに「本を送る活動」を始めています。希望の方、団体は当文学館に電話でお問い合わせください。

●連絡先

代表者 東郷 明子
TEL:0166(69)2626 FAX:0166(69)2611(担当 松本 道男)
E-mail:mm@hyouten.com
ウェブサイト:http://www.hyouten.com/



トツパングループ

ブックワゴン&「アートサロン」

●内容／「ブックワゴン」は、トツパングループが運営する被災地域を回る移動図書館です。このたび、巡回している仙台市内の仮設住宅で、臨床美術のワークショップ「アートサロン」を開催します。年齢・経験を問わず誰でも楽しめる内容を準備しています。ほっと心安らく時間や新たな自分を再発見できる機会として、ぜひご参加ください。12月は、7日(水)岡田西町公園、14日(水)福田町南一丁目公園、16日(金)背後地6号公園・若林日辺グラウンド、17日(土)荒井小学校用地各仮設住宅集会所で行います。

●連絡先

TEL:080(1301)6664(ブックワゴン仙台事務局)
ウェブサイト:http://bookwagon.jp/



山形カルチャー&スポーツセンター「和紙絵教室」

和紙絵作品展のご案内

◎期 間:2011年12月1日(木)~2012年1月31日(火)
(休館日:毎月第2・4水曜日、年末年始)
◎会 場:仙台市市民活動サポートセンター5階
◎入場料:無料
◎内容/山形県の和紙絵教室の皆さんが、被災者の笑顔をお願いながら色彩豊かな和紙絵を描きました。ご希望の方には無料でご提供もいたしますのでお問合せください。

●連絡先

問合せ担当者:大類 真理、伊藤 幸子
TEL&FAX:023(684)5325または023(632)0242
E-mail:mari-hira@bd.wakwak.com



NPO法人ライフライツ・インパクト東京

大切な自分を自分で守るために
護身術の習得

◎日 時:12月9日(金)、12月15日(木)
両日10:00~16:00
◎会 場:エル・ソーラ仙台
◎入場料:無料
◎定 員:両日とも20名(先着順)
◎内容/被災地にいるすべての女性と子ども、支援活動をする女性たちの安全・安心を守るための護身術を習得します。定員まで残りわずかのため、お申込はお早めに。

●連絡先

申込先:エル・ソーラ仙台管理事業係
TEL:022(268)8044 FAX:022(268)8045
ウェブサイト:http://www.sendai-l.jp/



(財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)

手づくりキャンドルで聖なる夜を

◎日 時:12月10日(土)13:30~15:30
◎会 場:フォレスト仙台5階501号室
◎対 象:小学生以上(お子様は必ず保護者同伴下さい)
◎参加費:一般800円、会員500円
◎締切:12月9日(金)午前まで(定員30名・先着順)
◎内容/キャンドル作家のITO AYAさんを講師に招き、被災地で不要になったろうそくを再利用してクリスマスキャンドルを作ります。エプロン、軍手、マイカップ持参。

●連絡先

問合せ担当者:菅田(スガタ)、廣重(ヒロシゲ)
TEL:022(276)5118 FAX:022(219)5713
E-mail:melon@miyagi.jpn.org



仙台グリーフケア研究会

大切な人を亡くした子ども達のためのワンディプログラム

◎日 時:12月17日(土)13:00~16:30
◎会 場:仙台青葉学院短期大学
◎対 象:大切な人を亡くした幼児~中学生
◎参加費:無料
◎内容/親やきょうだい、大切な人を亡くした子ども達が、お話やゲームをして楽しい時間を過ごすためのプログラム。自分の気持ちを表現できるようサポートします。

●連絡先

問合せ担当者:佐野 由季
TEL:070(5548)2186
E-mail:grieffoffice@gmail.com



ココロノキンセンアワー演劇部

「ロミオとフリージアのある食卓」

◎期 間:12月23日(金)~25日(日)
◎会 場:エル・パーク仙台ギャラリーホール
◎参加費:一般前売2000円、高校生以下1000円
当日一律2300円
◎内容/30年以上の間多くの人に親しまれてきた如月小春の作品「ロミオとフリージアのある食卓」を、大震災こころの復興祈念企画で立ち上がった劇団が公演します。

●連絡先

TEL:080(1656)0003
連絡可能な時間帯:10時~22時
ウェブサイト:http://www.geocities.jp/kokoronokinsenhour/



デフ・ウィンターフェスティバルin SENDAI vol.2実行委員会

手話パフォーマーによる
復興チャリティイベント

◎日 時:2012年1月8日(日)
13:00~17:00(開場12:30)
◎会 場:仙台市市民活動サポートセンター地下1階
◎入場料:大人1500円、高校・専門・大学生1000円、
小・中学生500円、小学生以下無料
◎内容/手話落語、マジック、トークショー、手話パフォーマンス、手話歌など内容盛り沢山!売上の一部は関係団体を通じて寄付します。定員150名(先着順)。

●連絡先

問合せ担当者:事務局 工藤 豊(みやぎ手話工房フロムハート)
FAX:022(251)6189
E-mail:deaf-mute-masakari@f5.dion.ne.jp

NPO・市民活動団体による電話相談

掲載された電話相談に関する情報は、相談日、受付曜日、時間など、それぞれ団体ごとに違ってまいりますのでよくお確かめのうえ、直接お電話でご相談ください。

こころ 東日本大震災「こころのサポートルーム」

NPO法人仙台交流分析協会
電話:022(265)0441
受付時間:10:00~16:00 木・金・土曜日
●仙台市市民活動サポートセンター7階に「こころのサポートルーム」を開設し、被災者および救済支援者の心のサポートを行っています。面談をご希望の方はご予約ください。秘密は厳守いたします。

こころ 被災者の心のケアサポート専用ダイヤル

NPO法人メンタル・コミュニケーション・リサーチ
電話:022(352)8950
受付時間:11:00~17:00 毎週月・火曜日(祝祭日・年末年始を除く)
●東北大学大学院教育学研究科の若島孔文准教授の研究室と連携しながら、メンタルケアに関する無料電話相談を行っています。家族に関することや震災によるメンタルケアに関する相談をお受けいたします。

こころ 地震・津波に関するこころの相談ホットライン

仙台グリーンケア研究会
電話:080(3326)5612 受付時間:9:00~21:00 毎日
●震災後不安を抱えている方、思い出して辛い思いをされている方、大切な人を亡くした方、子どもたちの心の傷等についての相談、必要に応じて個人面談もいたします。わかちあいの会(ご遺族同士で今の気持ち等をお話する会)も実施。次回は12月17日(土)14:00~16:30、場所は仙台青葉学院短期大学、参加費は無料です。

こころ 寄り添いホットライン

一般社団法人社会的包摂サポートセンター、一般社団法人パーソナルサポートセンター
電話:0120(279)338
受付時間:10:00~22:00 毎週土・木曜日(岩手・宮城・福島県の方が対象)
●寄り添いホットラインは「一人にしない」「社会から切り離さない」ことを目指して電話相談に取り組んでいます。どんな悩みでも、一度電話で相談してみてください。一緒に解決を考えてみませんか?

健康 HIV/AIDSに関するエイズ電話相談を開設

東北HIVコミュニケーションズ(THC)
電話:022(276)1969
受付時間:18:00~21:00 毎週土曜日(お盆・年末年始を除く)
●HIV/AIDSに関する相談・質問、被災地にいるHIV陽性者の方や感染の不安がある方からの相談を受け付けています。相談には、専門的なトレーニングを積んだ相談員が応えています。

こども 子育ての電話相談

子どもの虐待防止ネットワーク・みやぎ(キャブネットみやぎ)
電話:022(265)8866
受付時間:10:00~16:00 月~土曜日
●キャブネット・みやぎでは、被災されながらも子育て中の方、子育てのパートナーを失った方、親の代わりに務める事になった方へ向けて、子育ての電話相談を行っています。相談員があなたの気持ちに寄り添います。

福祉 「心のピアサポート」相談電話

精神障害者自助グループ「心のネットワークみやぎ」
電話:022(308)6067
受付時間:10:00~16:00 月~土曜日(日・祝は休み)
●宮城精神しようかい着団体連絡会議と連携して、電話相談を始めました。大きな災害を体験してあなたの心、不安定になっていませんか?心の病を経験した私たちがあなたの心の声に耳を傾けます。お気軽にお電話下さい。

福祉 酒害相談

NPO法人宮城県断酒会
電話:022(214)1870
受付時間:10:00~17:00 月~金曜日
●震災後の不安をお酒で紛らわし、そこから抜け出せず依存傾向を強めていく方、既に立ち直ってもこの震災により再飲酒・依存へ戻る可能性も大いにあります。問題を抱える本人とそのご家族を対象に相談を行っています。

支援 被災者専用入権相談ホットライン

NPO法人World Open Heart
電話:022(398)7129
受付時間:9:00~12:00 13:00~17:00 月~金曜日
●「入権相談ホットライン」では、被災地から避難してきたということで、いじめや差別を受けている、性的嫌がらせを受けた、トラブルに巻き込まれた等、どこに相談してよいのかわからないという方、ご相談下さい。

支援 女性のライフサイクルについて助産師が応じます!

みやぎ子育て・女性健康支援センター
電話:022(297)1551
受付時間:10:00~16:00(月・水・金曜日)メールでも可(siansenter@gmail.com)
●思春期・子育て・妊娠・出産・産後・更年期など心配な時、話したい時、情報が欲しい時。お気軽にお電話ください。特に「思春期の性」に関する相談に力を入れています。

仙台市市民活動サポートセンター(サポセン)とは?
「サポセン」の愛称で親しまれている仙台市市民活動サポートセンターは、様々な分野のボランティアや市民活動・NPOの拠点施設です。

発行: 仙台市市民活動サポートセンター
〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3
TEL:022-212-3010 FAX:022-268-4042
ウェブサイト:<http://www.sapo-sen.jp>
E-mail:sendai@sapo-sen.jp

発行日: 2011年11月25日
編集: 特定非営利活動法人 せんだいみやぎNPOセンター
編集人: 小松州子 太田貴 葛西淳子 堀 隆一
取材: 市民ライターグループ「おかきプラス」
デザイン: 氏家朗

編集後記/サポセンでは、掲載情報のほかにもさまざまな支援活動情報をご提供させていただきます。ご来館いただくか、またはお電話でのお問合せも受付けておりますので、どうぞご利用ください。(スタッフ一同)

